

—食と緑が支える豊かな「あま」をめざして—

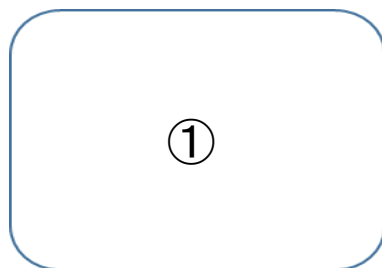


食と緑の
海部地域
レポート
2020

令和2年9月
海部農林水産事務所

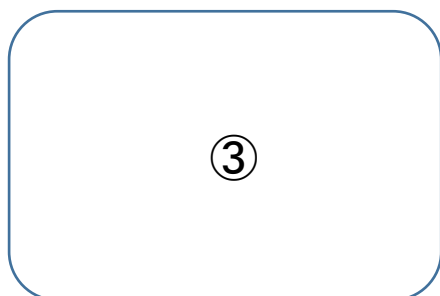


==表紙の写真説明==



① ポインセチアの栽培（弥富市）

② 木育イベントでの
コースターづくり（弥富市）

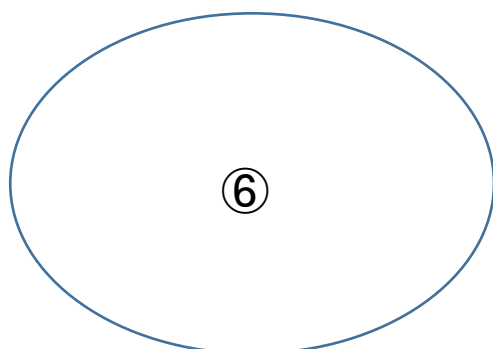


③ 排水機場での現地見学会
（勝幡排水機場：愛西市）

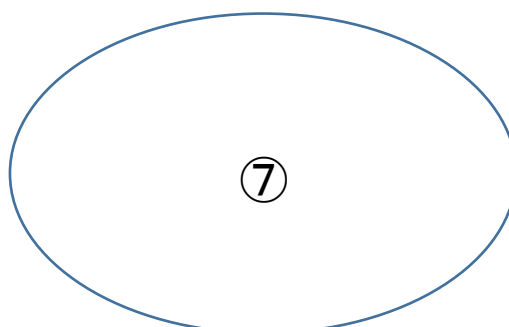
④ 海部地域いいともあいち即売会
（津島市）



⑤ 輝きネット・あいちの技人
による出前授業（あま市）



⑥ 水環境整備（愛西市）



⑦ 観音寺排水機場（蟹江町）

食と緑の海部地域レポート 2020 目次

I	食と緑の海部地域レポート作成の趣旨	3
II	海部地域における主な取組	4
1	競争力の高い農林水産業の展開による食料等の安定的な供給の確保	
(1)	あいちの強みを生かした技術による品質や生産性の向上	
	施策目標① 新技術・新品種の本格的導入	4
(2)	マーケットインの視点に立った生産・流通の改善と需要の拡大	
	施策目標② 戦略作物の作付比率の維持・向上	5
(3)	意欲ある人が活躍できる農業の実現	
	施策目標③ 新規就農者の確保	6
	施策目標④ 担い手への農地集積	6
	施策目標⑤ 農業水利施設の整備・更新	7
(4)	食品の安全・安心の確保と環境への配慮	
	施策目標⑥ 食品表示遵守状況調査の計画実施	7
2	農林水産業への理解促進と食料等の適切な消費の実践	
(1)	農林水産業を理解し身近に感じる活動の推進	
	施策目標⑦ 「いいともあいち運動」の推進	8
	施策目標⑧ 小学生等を対象とした花育教室の開催	9
	施策目標⑨ 小学生を対象とした排水機場現地学習会の開催	10
(2)	食育の推進による健全な食生活の実践	
3	自然災害に強く緑と水に恵まれた生活環境の確保と元気な地域づくり	
(1)	災害に強く安全で快適な生活環境の確保	
	施策目標⑩ 農村地域の防災・減災対策	11
(2)	森林・農地・漁場の有する多面的機能の発揮	
III	食と緑の基本計画 2020 海部地域推進プランの進捗状況	13

I 食と緑の海部地域レポート作成の趣旨

平成28年3月に「食と緑の基本計画2020」が策定されました。

この「食と緑の基本計画2020」は、「食と緑が支える県民の豊かな暮らしづくり条例」に基づき、その理念を実現するための基本計画であり、令和2年度を目標年度としています。

そして、海部農林水産事務所は、この「食と緑の基本計画2020」の推進事項のうち、海部地域の特徴を踏まえ、重点的に取り組む事項を定めた実践計画として「食と緑の基本計画2020海部地域推進プラン」を平成28年7月に策定しました。

この「食と緑の海部地域レポート2020」は、「食と緑の基本計画2020海部地域推進プラン」に掲載した海部農林水産事務所の各種の取組について、令和元年度の実践状況を、とりまとめ報告するものです。



「食と緑が支える県民の豊かな暮らしづくり条例(平成十六年三月二十六日条例第三号)」

== 抜 粋 ==

第三条 食と緑が支える県民の豊かな暮らしづくりは、次に掲げる事項が推進されることを基本理念として行われなければならない。

- 一 将来にわたって安全で良質な食料等の安定的な供給が確保され、かつ、その適切な消費及び利用が行われること。
- 二 将来にわたって森林等の有する多面的機能が適切かつ十分に発揮されることにより、安全で良好な県民の生活環境が確保されること。

II 海部地域における主な取組

1 競争力の高い農林水産業の展開による食料等の安定的な供給の確保

(1) あいちの強みを生かした技術による品質や生産性の向上

施策目標① 新技術・新品種の本格的導入

○パン・中華めん用小麦品種「ゆめあかり」の生産が海部地域で定着

愛知県的小麦作では、愛知県農業総合試験場（以下、農総試）が育成した日本めん（うどん等）用の品種「きぬあかり」が普及しています。

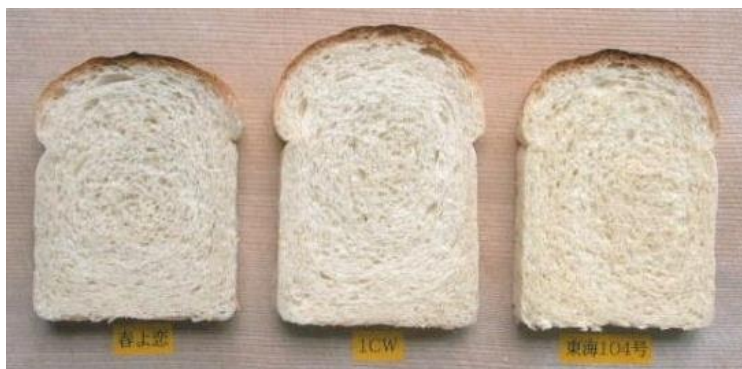
一方、パンや中華めん用の小麦は湿害に弱く、ほとんどを外国産に依存していました。しかし、国産志向の高まりや食料自給率向上のため、農総試がパン・中華めん用小麦品種「ゆめあかり」を育成し、平成28年度に愛知県の奨励品種に採用されました。

海部地域は、県内の主要な小麦産地として、「ゆめあかり」の導入を進め、JAあいち海部南部営農センター管内で平成28年産に試験栽培、29年産から本格栽培を開始しました。また、令和元年産からは同JA北部営農センター管内でも試験栽培が始まり、2年産からは本格栽培されています。

愛知県の令和元年産小麦は、過去に例のない豊作(563kg/10a)であり、海部地域の「ゆめあかり」も「きぬあかり」に匹敵する収量をあげました。しかしながら、「ゆめあかり」は「きぬあかり」と異なり、高いたんぱく質の含有量を求められるため、更に肥培管理の工夫に努めています。



【収穫間際の「ゆめあかり」】



【「ゆめあかり」で作ったパン】

（左：北海道産「春よ恋」、中央：カナダ産、右：「ゆめあかり」）
「ゆめあかり」は外国産や北海道産のパン用小麦にも引けを取らず、ふんわりとした食感に焼き上がります。

(2) マーケットインの視点に立った生産・流通の改善と需要の拡大

施策目標② 戦略作物の作付比率の維持・向上

令和元年度の戦略作物の作付面積割合は、前年並みの19%（1,366ha）を維持しています。

○需要に応じた生産の推進

主食用米の需要量が、減少傾向にある中、需要が増加傾向にある麦、大豆、飼料用米、加工用米等（戦略作物）の作付を推進しています。



【小麦「きぬあかり」の収穫】

○市場の要望に応じた選果体制の整備

J Aあいち海部では主要品目であるトマトについて、一元集荷と有利販売を目的に、国庫補助事業を活用して、自動化設備（ロボットパレタイザー等）や「高精度カメラ式等階級判別機」を導入しました。

この整備により、省力化に加え、正確な等階級判別に基づく品質の平準化を可能とし、品質の安定と、実需者からの要望に応えられる産地づくりを図りました。



【トマトの選果ライン】

○6次産業化の推進について

経営安定化、所得拡大を目指し、農林漁業者が取り組む6次産業化を支援しています。

令和元年度は、自ら生産する農産物の加工に取り組んでいる生産者を対象に、6次産業化プランナーを派遣し、年間16回の現地指導と相談対応を行いました。

今後も、6次産業化を進める市町村や農林漁業者による新商品の開発等を支援します。

(3) 意欲ある人が活躍できる農業の実現

施策目標③ 新規就農者の確保

○令和元年度の新規就農者について

新たに就農される方を支援するため、農業改良普及課内に農起業支援センターを設け、新規就農を希望する個人、企業等の相談に応じています。

令和元年度には計 28 人（延べ 42 回）の相談を受け、営農する農地の確保、栽培に関する農業技術の習得等、就農に向けて計画的に準備ができるように支援しました。

< 新規就農者数 >

区分	23年度～27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	小計
新規学卒	16	7	3	2	2	14
Uターン	28	10	3	12	5	30
新規参入	10	3	4	8	1	16
中高年Uターン	6	1	0	4	2	7
中高年新規	2	0	0	0	0	0
合計	62	21	10	26	10	67

(人)

※中高年：45歳以上65歳未満

※各年度とも前年5月2日から当該年5月1日までの1年間に就農した人数



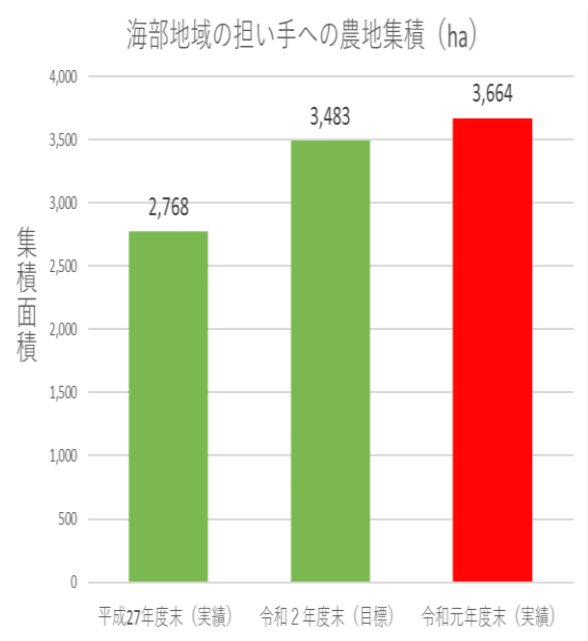
【新規就農者を対象とした「農業基礎講座（土壌肥料の基礎知識）」の様子】

施策目標④ 担い手への農地集積

平成 26 年度から農地集積を目的として新たに事業として始まった「農地中間管理事業」等により、農地の担い手への集積面積は 4 年間で 896ha 増となりました。

その結果、海部地域における令和元年度末の担い手への農地集積は、令和 2 年度末目標を大きく超え、3,664ha となり、集積率では 49.7% となりました。

この集積率は、県全体の集積率 37.6% を大きく上回り、県内でも有数の先進地域となっています。



施策目標⑤ 農業水利施設の整備・更新

○老朽化した農業水利施設の整備更新による農地の生産性の維持

老朽化した農業水利施設の整備更新事業を行った結果、用水の安定供給や適切な排水を行うことができ、令和元年度末までに3,092haの農地の整備・更新を行いました。

・農業水利施設保全対策事業

平成30年度までに、弥富市において1箇所の排水機場の機器の整備補修を完了しており、令和元年度には、芝井川排水機場(弥富市)及び孫宝第二排水機場(弥富市)において、機器の整備補修を行いました。



【農業用排水機の整備(弥富市)】

・地盤沈下対策事業

平成30年度までに、愛西市において1路線の用水路の整備を完了しており、令和元年度に、木曾川用水光西支線(愛西市内)の用水路の整備を完了しました。

・特定農業用管水路特別対策事業

松之郷、梅之郷地域(飛鳥村)及び日置地域(愛西市)において、老朽化した石綿セメント管、塩化ビニル管(φ150~300mm)の更新を完了しました。森津地域(弥富市)において、老朽化した石綿セメント管、塩化ビニル管(φ75~250mm)の更新を行っています。



【石綿セメント管の撤去(愛西市)】

(4) 食品の安全・安心の確保と環境への配慮

施策目標⑥ 食品表示遵守状況調査の計画実施

「食品表示は一目瞭然」を合い言葉に、平成21年度から毎月第1木曜日を「食品適正表示の日」と定め、食品表示の適正化を推進しています。

この「食品適正表示の日」を中心に、延べ40回、管内の食品販売事業者や米穀販売事業者を対象に、遵守状況調査を実施し、食品表示の適正化を図りました。

2 農林水産業への理解促進と食料等の適切な消費の実践

(1) 農林水産業を理解し身近に感じる活動の推進

施策目標⑦「いいともあいち運動」の推進

令和元年度は、いいともあいち運動ネットワーク会員3件の加入がありました。

○海部地域いいともあいち即売会の開催

「いいともあいち運動」推進の取組として、令和元年11月2日にあいち海部農業協同組合グリーンセンター津島店店頭で、海部地域いいともあいちネットワーク会員が地元産のレンコンやいちごを使用した洋菓子やお米を使用したおにぎり等の加工品を販売し、「いいともあいち運動」のPRを行いました。



【いいともあいち即売会の様子】

また、会場で「あいちの豚肉消費拡大」応援資材を配布し、豚熱の発生により大きな影響を受けたあいち産豚肉の消費拡大を呼びかけました。

○地元農産物を使った食品に対する支援

大治町商工会では、平成29年度から、町の特産品であるモロヘイヤの粉末サンプルを加盟の飲食店に提供し、オリジナルメニューの開発に努めてきました。

現在、大治町内を中心とした店舗で、モロヘイヤ粉末を使用したコロッケや、スムージー、お好み焼き等の加工食品を販売しており、店舗を紹介するグルメマップを制作し、PRしました。

食品開発に係る助言を行うとともに、愛知県の地産地消をPRする「いいともあいちフェイスブック」にグルメマップを掲載し、この取組を支援しました。

施策目標⑧ 小学生等を対象とした花育教室の開催

海部苗木花卉生産組合連合会や管内市町村、農業協同組合と連携して、令和元年5月11日、12日及び11月2日の3日間に、弥富市にある海南こどもの国で、計3回、花育教室を開催しました。

小学生を中心とした、多くの方が参加しました。



【海南こどもの国での花育教室（弥富市）】

○森林の学習の開催

森林の働きや木材の性質を知り、親しみを感じてもらうために「森林の学習」を津島市立神守小学校始め6小学校で開催し、312人の児童が参加しました。

開催校
津島市立神守小学校
津島市立西小学校
愛西市立開治小学校
愛西市立西川端小学校(2回実施)
愛西市立立田北部小学校
弥富市立十四山西部小学校



【森林の学習（愛西市）】

○木育イベントの開催

海部木材組合と連携し、令和元年11月2日、3日の2日間にわたり、弥富市の「海南こどもの国秋まつり」の中で、「きになる?!木のおへや」と題したイベントを開催しました。

木の名前あてクイズや焼きペンコースターづくりなど、多くの子供たちに参加いただき、木に触れ、ぬくもりを感じ、木に親んでもらうことができました。



【「きになる?!木のおへや」（弥富市）】

施策目標⑨ 小学生を対象とした排水機場現地学習会の開催

小学生を対象にした排水機場現地学習会を、8箇所の排水機場(愛西市、弥富市、あま市、大治町、蟹江町)において8回開催し、農業農村整備事業の役割、必要性についてPR活動を行いました。8校、約350人の児童が参加しました。

市町村	排水機場名	学 校 名
愛西市	鷹場	開治小学校
愛西市	勝幡	勝幡小学校
弥富市	鍋田南部	栄南小学校 大藤小学校
弥富市	孫宝第二/新孫宝	十四山東部小学校
あま市	鷹居	伊福小学校
大治町	円楽寺	大治西小学校
蟹江町	蟹宝	須西小学校



【排水機場での現地学習会
(円楽寺排水機場：大治町)】

(2) 食育の推進による健全な食生活の実践

○海部地域食育推進ボランティア研修交流会の開催

食育推進ボランティアと市町村の食育担当者との交流と相互の連携を深めるとともに、食育に関する知識の向上とその共有を図るために、「海部地域食育推進ボランティア研修交流会」を令和2年1月21日に海部総合庁舎において開催し、総勢33名が参加しました。

今回は、消費者の関心が高い「食品ロス」をテーマに、講義だけでなく、グループワークを行うことで、参加者自らが、「食品ロス」を減らす工夫について、考えていただくことができました。



【講義の様子】



【グループワークの様子】

3 自然災害に強く緑と水に恵まれた生活環境の確保と元気な地域づくり

(1) 災害に強く安全で快適な生活環境の確保

施策目標⑩ 農村地域の防災・減災対策

排水機場や排水路の改修事業を行った結果、排水機能を増強することができ、令和元年度末までに1,586haの区域で防災・減災対策を行うことができました。

○たん水防除事業

平成30年度までに、津島市、愛西市、弥富市、あま市、蟹江町において10箇所の排水機場の更新を完了しており、令和元年度に、飛島排水機場（飛島村）の更新を行っています。

○地盤沈下対策事業

平成30年度までに、津島市、愛西市の2路線の排水路の整備を完了しており、令和元年度に、^{かもり}神守地域（津島市）1路線の排水路の改修を完了しました。

○緊急農地防災事業

平成30年度までに弥富市、蟹江町において2箇所の排水機場の改修と弥富市において2路線の排水路の整備を完了しており、令和元年度に、立田地域（愛西市）1路線の排水路の改修を完了しました。



【飛島排水機場の整備（飛島村）】



【立田地域の排水路整備（愛西市）】

(2) 森林・農地・漁場の有する多面的機能の発揮

○多面的機能支払事業を活用した農地や自然環境等の保全の取組に対する支援

- ・農地を保全するためのあぜ・排水路等の草刈りや清掃、水路の泥上げ等の活動を行っている6市町村49活動組織に対して支援をしました。



【弥富市鍋田広域委員会（森津地域資源保全隊）の草刈清掃活動】



【愛西市山路みどりの会の泥上げ活動】

- ・農家と地域住民との交流、農村環境確認のための生物の生息状況調査の活動に対して支援をしました。



【あま市沖之島環境保全会による生き物調査】

III 食と緑の基本計画2020海部地域推進プランの進捗状況

主 な 取 組 項 目		H30年度		R1年度	
施 策 目 標	目 標 値 (令和2年度末)	実 績	進 捗 状 況	実 績	進 捗 状 況
○あいちの強みを生かした技術による品質や生産性の向上					
① 新技術・新品質の本格導入	5年間で5件	1件	◎	1件	◎
○マーケットインの視点に立った生産・流通の改選と需要の拡大					
② 戦略作物の作付比率の維持・向上	5年後19%を維持	19%	◎	19%	◎
○意欲ある人が活躍できる農業の実現					
③ 新規就農者の確保	5年間で60人	累計57人	◎	累計67人	◎
④ 担い手への農地集積面積	5年後に3,483ha	3,799ha (累計1,031ha増)	◎	3,664ha (累計896ha増)	◎
⑤ 農地や農業水利施設等の整備 ・更新面積	5年間で3,174ha	累計1,513ha (計画1,437ha)	◎	累計3,092ha (計画3,034ha)	◎
○食品の安全・安心の確保と環境への配慮					
⑥ 食品表示遵守状況調査	毎年40件	40件	◎	40件	◎
○農林水産業を理解し身近に感じる活動の推進					
「いいともあいち運動」ネットワーク ⑦ 会員 ・推進店の新規加入	5年間で20件	累計27件	◎	累計30件	◎
⑧ 小学生等を対象とした 花育教室の開催	毎年3回	8回	◎	3回	◎
⑨ 小学生を対象とした排水機場 現地学習会の開催	毎年7回	9回	◎	8回	◎
○災害に強く安全で快適な生活環境の確保					
⑩ 農村地域の防災・減災対策面積	5年間で1,989ha	累計1,527ha (計画1,295ha)	◎	累計1,586ha (計画1,560ha)	◎

- ◎ 目標に対して100%以上
- 目標に対して80%以上100%未満
- △ 目標に対して80%未満